

改題 第 81 号

2007年 8月 30日

飯田橋だより

○発行 東京清掃労働組合

一組本庁支部

○編集 山崎 精一

◆ 本部、三役常任 11名確定 ◆

当支部からも2名

8月17日、東京清掃の役員選挙の再告示が締め切れ、三役常任については西川卓吾（江東支部）以下山崎精一（一組本庁支部）までの11名が定数内のため無投票当選が確定しました。【裏面参照】委員長、書記長などの役職はこの11名の中から選ばれます。手続きとしては、9月7日に各役職の選挙の告示が行われ、同日に締め切れ、9月30日開催予定の大会での代議員の投票により決まります。

各区、一組選挙区から選出される執行委員についての再告示の結果は品川区から一名立候補と当選の確定があっただけで、残りの7区と一組については再々告示が行われ、9月7日までに決定することになっています。

一組選出の3名の執行委員の選出については現在、一組総支部執行委員会で検討中であり、一組各支部にも人材を推薦するように働きかけているところです。

無給職免での初めての

支部委員会昼休み開催

8月27日、無給職免による初めての支部委員会が開催されました。12時半に開催され、25分の無給職免を使い、13時25分まで行われました。

議題として次期中央委員の選任を行いました。現在山崎支部書記長が中央委員を務めていますが、本部大会で三役常任になることになりましたので、新たに選任する必要が出てきました。執行委員会からは坂東支部長を推薦する提案が行われ、支部委員会です承されました。

9月30日開催の本部定期大会の代議員は一名の割り当てになっています。支部委員会の確認に基づき、次のとおり28日に選挙運営委員会より告示されました。

- 定数 1名
- 締め切り 9月3日5時
- 提出先 選挙運営委員

組織・財政方針案に

修正提案を用意

9月6日に中央委員会が開催され、定期大会の運動方針、予算案などが提案される予定です。その中に、組織財政方針案が含まれています。これは時間内組合活動の見直し、組合員数の長期的な低落予想などを受けて、組合活動全般のあり方を見直そう、という提案です。この本部提案に対して、これまで一組総支部として取り組んできた組合職免、犠牲者救援資金の使い方などの見解を反映させるために中央委員会で修正動議を提出することにしました。おもな内容は以下のとおりです。

- ① 中央委員会、本部の中央執行委員会は議事が多い時などは必要に応じて、1時間から4時間、勤務時間内に無給職免を取って開催する。
- ② 総支部・支部への交付金については、機関運営が時間外になったことによる経費負担増に十分考慮して、精査・検討する。
- ③ 総支部の機関運営のため賃金カットされた場合は犠牲者救援資金を適用する。
- ④ 犠牲者救援資金の検討に当たっては、何日分のスト資金を積み立てておくか明らかにする。

以上の修正提案を一組本庁支部として用意し、全工場支部と各区支部に共同提案を呼びかけていき、修正実現に向けて努力していくことが支部委員会です承されました。25日に初めて土曜日に開催された一組総支部執行委員会でも同様の確認が行われています。

カンパ、ありがとうございました

先に取り組みされました夏季統一カンパと新潟県中越沖地震義援金の本庁での結果は以下のとおりでした。多くの皆様のご協力に感謝いたします。

- ◆ 夏季統一カンパ 9,796円
- ◆ 中越沖地震義援金 145,000円（227名）